

2012年7月11日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

2012年度「機械遺産」5件が決まる！

一般社団法人日本機械学会（東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階、会長：金子成彦 東京大学教授）は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」5件を選定し、8月7日「機械の日」に認定いたします。

機械遺産の認定は、2007年に本会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで50件を認定し、今年で6回目となります。応募・推薦があった候補の中から厳正なる審査の上、下記5件の認定を決定いたしました。

なお、認定表彰式は2012年8月7日（火）「機械の日・機械週間」記念行事（日本学士院：東京都台東区上野公園7-32）に於いて行われますとともに、7月31日（火）～8月13日（月）の期間中、国立科学博物館 地球館2階（東京都台東区上野公園7-20）では昨年までに認定された貴重な機械遺産の実物やレプリカ等を時代別に展示いたします。

2012年度「機械遺産」認定一覧 【】内は遺産所在地

- 第51号 ステンレス鋼製車両群（東急5200系と7000系） 【神奈川県横浜市】
- 第52号 吉野山ロープウェイ 【奈良県吉野郡吉野町】
- 第53号 池貝工場製第1号旋盤（現存最古の動力旋盤） 【東京都台東区】
- 第54号 卓上複写機リコピー101 【静岡県沼津市】
- 第55号 ウォシュレットG（温水洗浄便座） 【福岡県北九州市】

「機械遺産」について

日本機械学会は、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することで、文化遺産として大切に保存し、次世代に伝承するために本会110周年を記念して本事業を創立致しました。認定対象は原則として Site（歴史的景観を構成する機械遺産） Landmark（機械を含む象徴的な建造物・構造物） Collection（保存・収集された機械） Documents（歴史的意義のある機械関連文書類）の4分野の機械遺産。会員から応募・推薦のあった候補について、本会の技術と社会部門「機械遺産委員会」（委員長 池森寛）で選定・評価を行い、「機械遺産監修委員会」（委員長 長島昭）の総合評価を経て最終的に候補を絞り込み、理事会で承認されたものを「機械遺産」として認定表彰するものです。

これまでに認定された機械遺産の一覧等は、本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/> をご覧下さい。

本ニュースリリースは解禁日時7月23日午前0時を必ず厳守ください

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 総務グループ 高橋・曾根原
電話（03）5360-3500 / FAX（03）5360-3508
E-mail : sonehara@jsme.or.jp